

十勝地区国際理解教育研究会

事務局だより NO.

発行者 十勝地区国際理解教育研究会事務局 発行日 平成17年 月 日
連絡先 事務局長：久永恵子（帯広市立花園小学校 帯広市公園東町2丁目3 TEL0155-24-9123）

十勝地区国際理解教育研究大会

第26回となった今年の研究大会が、11月8日（火）音更町の下音更中学校と鈴蘭小学校を会場に開かれました。好天のもと、100人にせまる先生方にお集まりいただき、さわやかな秋の熱い一日となりました。

今年の研究大会では、小中あわせて4つの研究授業公開がされました。また、学校現場に生きた英語を取り入れる支援をされているNPOの代表、安江こずえさんによる講演もあり、例年に増して見どころの多い研究会でした。

高橋幸紀先生 「世界を知り自分を知ろう」 中2年学活

4カ国の国際交流員をお招きし、その国と自分の比較から、他国と自分との違いに思いを巡らせ関わりを考えていきました。



タイ語であいさつ、できるかな



「ブラジルの人はみんなサッカーが上手ですか？」



大西啓就先生 「人のくらしと工場のしくみ」 小3年社会

私たちの身近には、実は世界からやってきたものがたくさんあります。日本以外の様々な国と自分の関係をダイレクトに見つめました。



「このスナック、先生が買ってきたんですよ」

指導に詳しい講師の個性が一つになり、生き生きとした授業が繰り広げられました。

寺川千絵先生 & 黒田幸枝先生 「英語活動」

小5年総合

NPO教育支援協会から英語講師を招いて、TTでの英語活動を行いました。学級の児童をよく知っている担任と、英語



音楽室全部を動いて、楽しく活動しました

大野健先生 「日本の常識・非常識」

小6年総合

世界には様々な国があります。

日本ほど豊かでない国も多く、小学生のうちから家庭の一員としての労働力を期待されている所も少なくありません。頭で知るだけでなく、自ら体感することで、他国の実情により深く心を寄せる授業となりました。



「こんな大変なことを、毎日やってるのか・・・」

ローマ便り ローマ日本人学校の金元先生より～



住んでいるアパートのドアはオートロック。とうとうやっていた。学校から帰ってからちょっと近所のお店に食料を買いに行こうと、バックと鍵を持ってドアを開け、鍵をかけようと思ったら、手に持っているのはなんと学校の鍵・・・家の鍵は家中。パタンとドアを閉めてしまったので、とにかくもう中には入れません。大パニックです。大家さんはジッリさんというイタリア人で、ちょっと離れたところに住んでいます。とにかく、連絡してドアを開けてもらわなくては家に戻れない。

幸いなことに携帯は持っていました。だけど、なんていえないのかわかりません。どうしようってことで数件先によく行くピザ屋に駆け込み、わけのわからないイタリア語で状況を伝えようとしたら、まったく通じなくて店中が大騒ぎになって、気がついたらいろんな人が集まってしまいました。お店のレジの人が、どこから英語の話せる人を連れてきてくれて、簡単な英語と身振りで状況を伝えたら、その人が大家さんに電話してくれました。30分後に大家さんが笑いながら合鍵をもってやってきてあけてくれました。大家さんにも、ピザ屋さんにも、通訳してくれた人や心配してくれたその他大勢のお店の中いいた人にも感謝感謝です。